

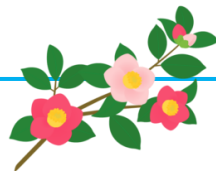


来場者数 190名 視察 2件

【介護テクノロジー相談件数】 9件

相談内容 抜粋

- ①看護学校教師、地域在宅看護論の実習で福祉用具やテクノロジーを体験したい。
- ②施設職員、見守り機器の導入が決まったが実際の動きについて、またカメラも導入するのでどのように知らせられるのかを体験したい。またインカムへの通報を体験したい。
- ③開発事業者、地域のお出かけ支援システムにかかわるコミュニケーションシステム開発について相談したい。
- ④開発事業者、施設でのバイタル測定を行う機器を実演したい。
- ⑤家族、施設での入浴は難しいといわれ自宅でお風呂介助をしていたが、だんだん体が動かなくなり介助があってもお風呂に入れられなくなってしまった。入浴用のリフトが見たい。



【一般相談件数】 7件

個別相談内容 抜粋

- ①盲人用時計についてと給付について知りたい。
- ②歩行がしづらくなってきたときに歩行器を使うと思うがどのようなものが良いか知りたい。
- ③家族、歩行が安定せず杖で40メートルくらい歩けるがそれ以上は疲れてしまう。本人は歩けるようになってほしいと思っていて歩行車を提案してもいやだという。施設内ではリハビリもやっている。歩行車を見て感想を聞かせ使えるようにしたい。
- ④要介護2、今後何が必要になるのか、どんなものが生活に役立つのか知りたい。
- ⑤屋内エレベーターについて知りたい。
- ⑥家族、以前オーダーで作った車いすの座シートがたわんでしまい修理したいが購入した会社はなくなってしまっている。どこに相談すればよいか分からず困っている。

本年もよろしくお願ひいたします。

昨年は7月に「栃木県介護生産性向上総合相談センター」（介護のしごとサポートセンターとちぎ）が開設されました。

モデルルームには最新の介護テクノロジーが多く展示されています。

これは施設職員の方はもちろんのこと、視察に来られた多くの方々にも触れていただく機会をもって、介護テクノロジーを身近に感じていただき、新しい介護のイメージを感じ取っていただけるかと思ひます。介護テクノロジーの進歩は介護職員の方々の心身の負担を軽減させ、ゆとりの時間を作り、本来目を向け実行しなければならない介護の質の向上を目指せるものです。



「生成AIで実現する生産性向上セミナー」を開催しました。

12/1、福祉プラザ研修室にて、介護現場で生産性向上（業務改善）に取り組むためのノウハウ、人材育成の考え方のほか、生成AIを活用し業務効率化を図る手法について学ぶセミナーを開催し、会場36名 オンライン86事業所の参加がありました。

講師 株式会社ハブスク
大松良司氏



研修活動等報告

- 「障がいの理解」研修 シルバー大学（北校）矢板市
- 「福祉用具の安全な利用」検討部会 テクノイド協会
- 「住宅改修と改修計画」研修 東京都福祉保健財団
- 「介護福祉機器開発・参入セミナー」とちぎ医療福祉機器産業振興協議会
- 福祉用具プランナー研修「住宅改修」「プランニング演習」テクノイド協会